

KBCI 便り 11月号 2009

11月の目標 祈り

ノンクリスチャンのお友達の
ために祈る

「秋っぱれサンデー」でしたダンス&マーチングは

「秋っぱれの出来映え」でした。

ステップや動作を覚える、次にグラウンドでの練習。そろっているか、美しいか、勢いがあるかポイントのレベルが一つ一つ上がっていきましました。そして神様の恵みで10月4日は最高の演技になりました。



山登り「氷ノ山」は8時から3時半まで歩きました。休憩時間と食事ですましている時間を除くと6時間以上歩いたこととなります。登りが続きました。12時に山頂に辿り着いたとき、全員で登れたことが嬉しくて感動しました。勿論、色づいたあたり一面の景色に感動しました。見渡す限りの山々と雲の姿に見とれました。

その後、尾根歩きも階段も少し疲れ気味の足を励ましつつ、登山口まで楽しんで歩きました。

太田兄弟のリードとサポートに心から感謝します。

秋、2つのチャレンジに一人一人がやり遂げることが出来ました。

代表 梅谷 敬子

【月の目標】

10月の目標は「美しい姿勢 鉛筆の持ち方」でした。

正しい持ち方は美しく見えます。そして機能的で力むこともなく、書きやすく、早く書くことが出来ます。鉛筆が美しく持っているか、見直しと正しい持ち方に2ヶ月取り組んできました。

鉛筆の持ち方が変わったケース、もう少し意識するよう継続するケースがあります。

1つのことを続けることは大変なことです。まして変化することは意志と根気がどれほど必要なことか。もう少しの期間、根気よく見ていく予定です。

10月の目標は多くのことに気づかされる時となりました。

「目標」は目標で終わらない。未来のために必要であり、重要だと言うことです。

KBCIのルール

1. 大きな声であいさつと返事をする。
2. おともだちが素晴らしいことをしたら、拍手する。
3. 大人の質問には礼儀正しく答える。



2010年度入学試験のご案内

入学試験 11月14日(土) ※学校案内・入学願書 KBCIまで

11月・12月の予定

- 11月 6日(木) 山登り 「砥峰高原」(900m) 2~5年生
 19日(木)~21日(土) 白馬セミナー 2~6年生&希望保護者
 27日(金) 山登り 「千ヶ峰」(1005m) 2~5年生
 12月 2日(水)~3日(木) 期末テスト 7~8年生
 4日(金) 山登り 6~8年生
 11日(金) 山登り 2~5年生
 18日(金) 2学期終了
 ☆3学期スタート 1月7日(木)



10月の報告

みことば習字コンクール出品 2~6年生

チアにっぽん主催の書道コンクールに先月出品しました。結果が返ってきました。表彰は白馬セミナーで行われます。

- 2年生 金賞受賞 1名 3年生 金賞受賞 1名
 4年生 銀賞受賞 1名



入賞作品

山登り「白髪岳」 9日(金) 6~8年生

2学期最初の山登り。氷ノ山のリハーサルとして登りました。木がうっそうと茂る道、幅が50cmもない狭い林道など登る中でも様々な道を通りました。三角錐の山容から「丹波富士」とも呼ばれる山だけあり、山頂近くは急な岩場。ロープを掴まないと落ちてしまうような所もあり、スリル満点の山登りでした。山頂近くで雨が降ってきました。たどり着いた山頂で太くはっきりとした虹を見ることができました。



氷ノ山登山 23日(金) 6~8年生

いよいよ兵庫県最高峰1510mに挑戦。朝6時に教会を出発。バスは2時間で登山口に到着。4時間に渡る上りがスタートしました。比較的登りやすい道が続いたのと、高地のための涼しさで長時間の登山でも足取り軽く登っていきました。山道の木々は紅葉が始まり、見上げると色づいた葉が太陽の光を浴びて輝いていました。周りの山々に目をやると、常緑樹の緑と紅葉した鮮やかな黄、赤が混ざり、カラフルな光景が広がっていました。頂上の着いた時は「着いた〜!」という声。「雲が同じ高さにある!」「山が見下ろせる!」と兵庫県最高峰の山頂の景色を満喫。空も吸い込まれそうなほど真っ青。最高の天候を与えてくださった神様に感謝しました。



特別授業 理科 古田兄 26日(月) 6~8年生

先月に引き続きカメラの授業。シャッタースピードと絞りを変えると、写りがどのように変わるかを見ました。手動で調整し、画像が変わるのを見て楽しみました。後半は走っている人の写真を撮りました。シャッタースピードと絞りを替えて、全部がぶれる写真・人は止まって見えるが景色は流れるように見える写真・人も景色もはっきりと写る写真を撮りました。感想より「昔のカメラは不便と思っていた私は、昔のカメラもいいなあと思いました。デジタルカメラは、自動で光を調節したり、よりぶれないようにピントを合わせたりします。でも昔のは自分です。ドキドキするけれどいいんじゃないかと思いました。」